

学校再開に向けて

学校長 金子 正人

外出自粛で季節を感じることなく過ごしてきましたが、いつの間にか紫陽花の美しい季節になりました。緊急事態宣言が解除され、6月1日より3か月ぶりに学校が再開されることになりました。子どもたちも保護者の皆様もこの日を心待ちにしていたのではないのでしょうか。

再開と言っても、元の学校生活が完全に戻ってくるわけではありません。第一段階は午前・午後別の分散登校です。二部制にすることで教室の人数を半分にして、感染予防のための新しい生活様式に慣れていきます。第二段階ではそれを習慣化させ全校で短時間授業を行います。そのうえで通常授業に戻し徐々に学習の遅れを取り戻していきます。

学校では、「密閉」「密集」「密接」という3つの密を避けながら教育活動を行います。マスクの着用、手洗い・うがい、毎朝の入念な健康観察はもとより、机・椅子、ドアやトイレ、水道の蛇口などを毎日消毒し感染防止に努めます。また、友だちとの距離を離して座る、至近距離での会話は避けるなど、国や市のガイドラインに沿って感染防止策を講じていきます。今まで気にせずに来てきたことが軒並み避けるべきことに分類されていますので慣れるまでは違和感があるかと思いますが、新しい生活様式として習慣化していければと思います。各家庭にも、毎朝の検温や健康観察などをお願いすることになりますが、子どもたちの健康を守るためにご協力くださいますようお願いいたします。

日本赤十字社が新型コロナウイルスの3つの顔（3つの感染症）を知って、負のスパイラルを断ち切ろうというメッセージを送っています。第1の感染症は「病気」、第2の感染症は「不安」、第3の感染症は「差別」です。本来結束して未知のウイルスに立ち向かうべきですが、不安や差別が人の心を支配し社会を分断させる恐れがあるということです。

実際、医療従事者が嫌がらせを受けたり、感染者やその家族が差別やいじめの対象になったりしているという残念なニュースを目にします。緊急事態宣言が解除されても、ウイルスが死滅するわけではないので、誰にでも感染の可能性があります。今後とも感染した人や家族を差別することがないように子どもたちには指導していきます。

学校では感染予防に最大限配慮しつつ、まずは子どもたちが「学校に行けるようになってよかった」「学校は楽しい」と思えるように迎えていきます。引き続き保護者の皆様、地域の皆様のご理解と、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

